

## 平成29年度 第3回 久留米市総合教育会議

平成30年3月28日  
17:15～18:30  
久留米市庁舎401会議室

### 次 第

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 議題1 久留米市の教育課題について(意見交換)

参考資料① これまでの協議状況について

参考資料② 第3期久留米市教育改革プランの進捗状況について

- 5 その他
- 6 閉会

# 平成29年度 第3回 久留米市総合教育会議

## 議題1 久留米市の教育課題について（意見交換）

※ 久留米市の公教育をよりよいものとする観点から、久留米市の教育が抱える諸課題について、市長と教育委員がそれぞれの立場から自由に意見交換を行う。

### ポイント1 学力向上のための現状把握と対策

- ・ 地域、学校別の現状把握
- ・ 学校の特色の強化
- ・ 学区制の運用

### ポイント2 少子化対策

- ・ 少人数学校の統廃合
- ・ 校区の保護者や住民との調整課題

### ポイント3 IOT、英語教育の強化

- ・ 教師や運用面での現状把握と課題
- ・ モデル校の設置等

# 平成29年度 第3回 久留米市総合教育会議

## 参考資料①

これまでの総合教育会議の協議状況について

## 1 総合教育会議の基本的な考え方

総合教育会議は、教育委員会の権限に属する事務に関して、予算の編成や執行、条例の提案、青少年の健全育成などの首長の権限に属する事務との調和を図るとともに、首長と教育委員会が共通の認識に立つことを目的として、自由に意見交換するために行われるものである。

## 2 これまでの総合教育会議の取組について

これまで総合教育会議では、27年度に教育に関する大綱と第3期教育改革プランの策定を中心に議論し、28年度は、「久留米市の児童生徒の学力保障と向上について」を中心に議題とした。

### ◆平成27年度

開催日	協議事項
第1回 6月8日	(1) 久留米市総合教育会議要綱について (2) 教育に関する大綱（案）について
第2回 8月20日	(1) 教育に関する大綱（修正案）について [報告]次期教育改革プラン策定の方向性等について
第3回 11月9日	(1) 教育に関する大綱（最終案）について (2) 次期教育改革プラン策定状況について

### ◆平成28年度

	議題
第1回 7月25日	久留米市の児童生徒の学力の保障と向上について
第2回 11月21日	久留米市の児童生徒の学力の保障と向上について
第3回 2月22日	(1) 久留米市の児童生徒の学力の保障と向上について (2) 久留米市教育に関する大綱及び第3期久留米市教育改革プランの進捗状況について

### 3 平成29年度総合教育会議について

平成29年度の総合教育会議では、「全国学力・学習状況調査」、「教育に関する大綱」、「第3期教育改革プラン」について継続的に協議を行うとともに、昨今話題となっている「教員の多忙化」及び「特別支援教育」について、本年度の重点テーマとして議題としている。

	議題
第1回 8月22日	(1) 教員の多忙化解消に向けた業務改善の取組 (2) 久留米市の特別支援教育について
第2回 11月6日	(1) 教員の多忙化解消に向けた業務改善の取組 (2) 久留米市の特別支援教育について (3) 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

#### ◆平成29年度重点テーマに係るこれまでの主な協議内容

##### ①「教員の多忙化」について

- ・ 全国・県における教員の多忙化の状況
- ・ 久留米市での取組や先進自治体の取組
- ・ 8月に中央教育審議会特別部会が公表した「学校における働き方改革に係る緊急提言」や教員の働き方改革関連の文科省概算要求
- ・ 教員の多忙化解消に向けた今後の対応の方向性

##### ⇒今後に向けて検討を行う多忙化対策

- ・ 久留米市立学校における働き方改革推進本部（仮称）の設置
- ・ 市教委各課からの通知文書等の精選
- ・ 夏季休業期間中（お盆時期）の学校閉庁日の取組
- ・ 部活動指導員の配置
- ・ スクール・サポート・スタッフの配置
- ・ ICカードタイムレコード機器の導入
- ・ 教職員業務改善モデル校の指定
- ・ 給食費等の公会計化

②「特別支援教育」について

- ・ 特別支援教育に関する本市の実施状況や特徴、及び他中核市との比較
- ・ 特別支援教育に関する教職員の能力向上や教育委員会体制の整備
- ・ スクールカウンセラーによる相談体制の強化の方向性
- ・ 医療的ケアを必要とする児童生徒の状況
- ・ 医療的ケア児の就学に関し、先進的な取組を行う広島市の状況
- ・ 医療的ケアの体制や対象児の通学に対する支援

⇒今後に向けて検討を行う特別支援教育への対応

- ・ 特別支援教育を専門とする指導主事の指導体制の強化
- ・ 特別支援学校のセンター的機能の強化
- ・ 居住地校に就学する児童生徒の医療的ケアへの対応
- ・ 特別支援学校に就学する医療的ケア児の通学支援
- ・ 特別支援学校や特別支援学級等の施設整備

**平成29年度 第3回 久留米市総合教育会議**

**参考資料②**

**第3期久留米市教育改革プランの進捗状況について**

## 目 次

1	教育改革プランの概要 .....	1
2	久留米市教育に関する大綱について .....	1
3	第3期プランの目標 .....	4
4	目指す子どもの姿 .....	4
5	3つの重点と4つの視点による学校力の向上 .....	4
6	第3期プランの概要図 .....	6
7	第3期プランの進捗状況 .....	7
8	総括と今後に向けて .....	1 2



## 1 教育改革プランの概要

### (1) 位置付け

第3期久留米市教育改革プラン（以下「第3期プラン」といいます。）は、久留米市新総合計画第3次基本計画及び久留米市教育に関する大綱に掲げられた目指す理念や基本方針等の実現に向けて、教育基本法に基づいて定めた市の教育振興基本計画であり、教育施策に関する中期的事業プランと位置付けています。

### (2) 策定範囲

第3期プランは、久留米市が市立学校として、小・中・特別支援学校及び高等学校を設置している特性を活かし、第2期久留米市教育改革プランと同様に学校教育分野を主な対象とします。また、家庭や地域と協働した学校の教育力の向上に関する施策についても対象範囲とします。

### (3) 対象期間

第3期プランの計画期間は、久留米市新総合計画第3次基本計画及び久留米市教育に関する大綱の期間と同じく平成28年度から平成31年度までの4年間です。

## 2 久留米市教育に関する大綱について

### (1) 策定の経過

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、平成27年4月より、すべての地方公共団体が首長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を設置し、首長が教育に関する大綱を策定することとされました。

このことを受けて、久留米市では、総合教育会議における協議結果を踏まえて、平成27年11月に「久留米市教育に関する大綱」を策定しました。

### (2) 概要

#### ① 理念

大綱では、一人ひとりを大切にしたい未来を担う人づくりを進めるために「未来に希望の持てるまちづくりに向けて、教育の充実を図ること」「子どもたちの生きる力を育み、市民一人ひとりが生涯を通じて学ぶことのできる環境づくりを進めること」を理念として掲げています。

#### ② 基本方針と基本目標

大綱の理念を実現するために、3つの基本方針を掲げ、学校教育や社会教育、文化芸術、スポーツなど各分野の施策の方向性を示しています。また、基本方針を受けて7つの基本目標を掲げ、理念や基本方針を実現するための中心となる施策内容を掲げています。

## 基本方針 1

## 子どもの笑顔があふれるまち

### 基本目標 1 生きる力の育成

確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのとれた「生きる力」を持ち、次代を担う子どもたちを育成する施策を進めます。

特に学力の保障と向上に向け、教職員の授業力を高めるための研修やICTの活用を一層進めるとともに、きめ細かな学習指導、学習習慣の定着や補充学習、学校外で実施する無料学習支援などの充実強化を図ります。

### 基本目標 2 特色ある教育の推進

郷土愛を育むために郷土の自然や文化、歴史などをテーマに探求的な学習を行う「くるめ学」に取り組みます。併せて、質の高い文化芸術などに触れ、感性や創造性を育む取組や環境交流プラザを活用した環境教育の推進など、特色ある教育を進めます。また、異文化理解やコミュニケーションの重要性を踏まえ、外国語教育の充実を進めます。

### 基本目標 3 安心して学べる学校教育の環境づくりの推進

いじめ根絶の取組強化、不登校対策や心の健康づくりの推進、特別支援教育や相談体制の充実を図るとともに、学校施設の計画的な改築改修、学校規模に応じた通学区域の設定などの教育環境づくりを進めます。

また、セーフスクール推進事業に取り組むとともに、地域学校協議会を充実し、学校と家庭、地域が連携して子どもたちを支える仕組みづくりを推進します。

### 基本目標 4 子どもの健やかな育ちを支える環境づくりの推進

子どもが豊かな人間性を備え、他者とともに社会の一員としての役割を果たすような人として成長できるよう、青少年の非行防止や健全育成に取り組むとともに、立ち直り支援の取組を推進します。また、学童保育所をはじめとする小学生児童の放課後の安全な居場所づくりに取り組みます。

<b>基本方針 2</b>	<b>心豊かな市民生活を創造するまち</b>
---------------	------------------------

<b>基本目標 5 生涯を通じて学び、活かせる環境の整備</b>
----------------------------------

社会的なニーズや課題に対応した講座やイベントの開催など、誰もが学べる機会を充実するとともに、個々のニーズに応じた生涯学習情報の提供を充実します。  
特に、市民のまちづくり活動の活性化に不可欠な要素となる主体的な生涯学習活動の促進に取り組みます。

<b>基本目標 6 誰もが楽しめるスポーツの振興</b>
------------------------------

すべての市民がスポーツを楽しみ、健康づくりを進める機会や場を充実するとともに、久留米総合スポーツセンターを積極的に活用し、総合的なスポーツ振興に取り組みます。特に、学校体育・運動部活動の充実を図り、児童生徒の健やかな体の育成に取り組みます。

<b>基本方針 3</b>	<b>人権が確立されたまち</b>
---------------	-------------------

<b>基本目標 7 人権意識の確立</b>
-----------------------

自分の人権の大切さとともに、他者の人権の大切さも認め、それが態度や行動に現れるような市民意識を醸成するため、あらゆる機会、あらゆる場において、人権教育・啓発を進めていきます。

また、市民が自主的に人権尊重の意義や考え方、人権問題の現状、解決に向けた取組などを学べるよう、学習の機会の充実や場の確保、情報提供等の環境整備を進めます。さらに、学校、地域、家庭の連携のもと、人権のまちづくりを進めることにより、地域における身近な市民主体の人権啓発活動を推進します。

### (3) 大綱の特徴

大綱の特徴として、学力とも密接に関連する子どもの貧困対策の推進など、子どもの健やかな育ちを支える重要施策を盛り込んだことが挙げられます。

また、時代のニーズを踏まえて外国語教育を充実すること、文化芸術等を活かしたまちづくりの視点を踏まえて、久留米シティプラザや久留米市美術館の活用による市の特色を活かした教育を掲げたことなどがあります。

### (4) 大綱と第3期プランの関係

第3期プランは、上記に掲げる大綱に基づき、特に学校教育分野を対象として、具体的な教育施策等を定めるものです。

### 3 第3期プランの目標

第3期プランの目標は、「ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成」です。

次代の久留米を担う子どもたちには、たくましさと思いやりのある心を備え、自分が生まれ育った久留米への愛着と誇りを持って、将来に渡ってふるさとへの貢献を思う人に育ててほしいと願っています。また、そのために育成したい力として次の3つを掲げました。

まなぶ力	【知】	学びへの意欲、知識や技能、思考力・判断力・表現力など
つながる力	【徳】	他者への思いやり、規範意識や社会のルールを守る力など
やりぬく力	【体】	考え抜く力、困難を乗り越えようとする強い意志など

### 4 目指す子どもの姿

一人ひとりの子どもが将来の夢や希望、目標に向かって志をもち、仲間とともに切磋琢磨し、粘り強く学び続けることができるように、第3期プランでは、目指す子どもの姿を **夢に向かって学ぶ「くるめっ子」** と設定しています。

併せて、目指す姿を具体化する上で、「くるめっ子」の基本としてどの子どもにも徹底したいこととして、**あいさつ・そうじ・自学自習** の3つを大切にすることとしています。

### 5 3つの重点と4つの視点による学校力の向上

第3期プランでは、第2期プランで達成した事項の「効果の持続」と、達成に向かっていない事項や未達成の事項は、達成に向けて改善に取り組む「課題の改善」を基本方針とし、以下の3点で重点化を図ります。

#### 重点1 わかる授業【学力の保障と向上】

毎日の授業や校内研修のあり方等を見直し、子どもに基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせるとともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことで、授業がわかり、学ぶ楽しさを味わうことができる子どもを育てます。

また、「くるめ学」の学習や外国語教育を充実させるとともに、ICTの活用を一層進め、学力の保障と向上に努めます。

#### 重点2 たのしい学校【安全・安心な学校づくり】

不登校やいじめ問題への対策を行い、安心して学び楽しい学校生活を送れるようにします。その中で、自分の大切さとともに他者の大切さを認め、共感・協調できる子どもを育てます。

また、セーフスクールの取組を充実させることで、子ども自らがいかに自分で自分の身を守るかを意識し、自ら安全な行動ができるよう指導の充実を図ります。

さらに、校務運営の効率化を図ることで、教師が子どもと向き合う時間を確保し、安全・安心な学校づくりに努めます。

### **重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進【学校・家庭・地域の協働】**

地域学校協議会を充実させ、提言の実働化と学校関係者評価の充実を図っていきます。具体的には、地域人材の積極的な活用を図ることで、子どもたちの学習習慣定着や基礎的・基本的な知識・技能の定着を中心とした取組、健やかな成長を支える生活習慣づくりの取組、健全育成の取組などを推進していきます。

そのうえで、3つの重点を貫く4つの視点を次のとおり設定し、それぞれの重点に係る具体的な施策を展開する上での一貫性や関連性を持たせ、効果的に取組を推進します。

#### **視点1 人権・同和教育の推進**

人権感覚を高め続ける教職員の存在等、人権が尊重された環境のもと、全教科等を通じて、児童・生徒一人ひとりが自他を大切にできる態度や技能を身につけることができる学校づくりを進めます。

#### **視点2 外国語教育の推進**

外国語活動や英語教育を中心に、学校の教育活動全体を通じて異なる文化や人々に対する理解を深め、子どもたちが急速なグローバル化が進む国際社会の中で生き抜くために、必要な資質・能力の育成を重視した学校づくりを進めます。

#### **視点3 特別支援教育の推進**

子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じる特別支援教育を充実するとともに、誰もがわかりやすい授業、誰もがすごしやすい学校生活を提供できるユニバーサルデザインの学校づくりを進めます。

#### **視点4 小中連携教育の推進**

中学校入学後に不登校生徒数が増加するという中1ギャップを克服し、学習や生活について、中学校でのよりよい適応を目指す小中学校間の連携を行う学校づくりを進めます。

以上のような3つの重点、4つの視点による取組を進める中で、学校力の向上を目指します。

学校力とは、子どもたちの教育について、学校や家庭、地域がそれぞれの役割を果たそうとする責任感を基礎に、学校が解決すべき教育課題に学校の教職員の協働により立ち向かおうとする学校の自立心を中核とし、学校で育成する子どもの力、子どもの力をはぐくむ教師の力や家庭の教育力、地域の教育力で構成されます。

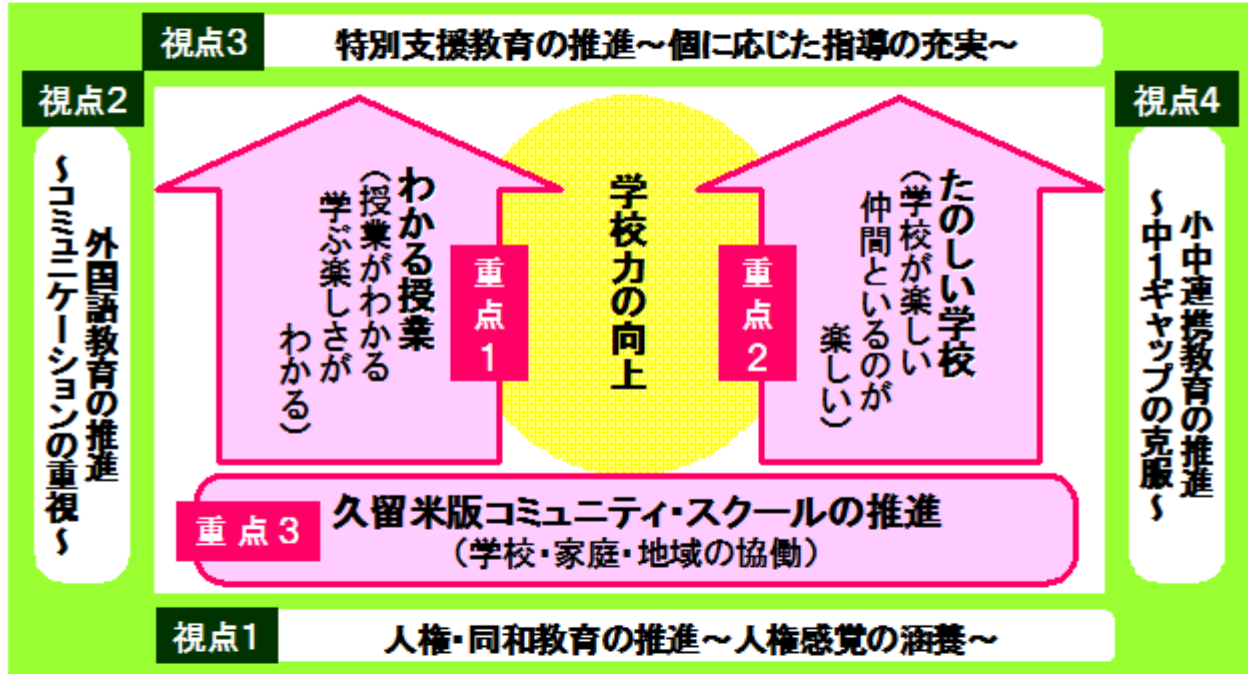
6 第3期プランの概要図

久留米市新総合計画〔第3次基本計画〕「市民一人ひとりが輝く都市久留米」  
 ◆子どもの笑顔があふれるまち ◆人権の尊重と男女共同参画が確立されたまち  
**【教育に関する大綱】**  
 「一人ひとりを大切にしたい未来を担う人づくり」への取組→学力の保障と向上、特色ある教育

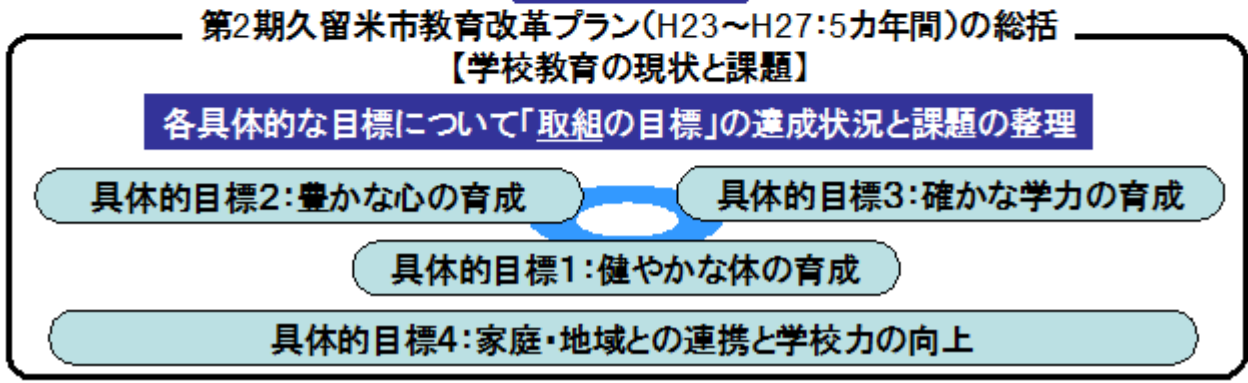


**第3期教育改革プランの目標**  
 ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成  
 [まなぶ力・つながる力・やりぬく力]

**目指す姿**  
 夢に向かって学ぶ「くるめっ子」  
 [あいさつ・そうじ・自学自習]



効果(不登校の予防と解消)の持続と課題(学力の保障と向上)の改善



## 7 第3期プランの進捗状況

第3期プランの評価指標に関する平成29年度の進捗状況は、次のとおりです。  
なお、表中の評価欄の記号は、以下のとおりです。

評価欄	◎ 達成（予定通り進捗）                      ○ 概ね達成（概ね予定通り進捗） △ 未達成（予定通り進捗せず）          × 未着手
-----	--

### 重点1 わかる授業【学力の保障と向上】

施策		評価指標	策定時 (%)																																							
		29年度の成果等	現在 (%)																																							
課題と今後の取組等																																										
1	授業改善への支援 (学校教育課)	全国学力・学習状況調査結果で全国平均を超える (全国学力・学習状況調査)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H27)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">小6</td> <td>国語A</td> <td>68.3</td> <td>70.0</td> <td>▲ 1.7</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>63.2</td> <td>65.4</td> <td>▲ 2.2</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>72.1</td> <td>75.2</td> <td>▲ 3.1</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>42.7</td> <td>45.0</td> <td>▲ 2.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中3</td> <td>国語A</td> <td>72.3</td> <td>75.8</td> <td>▲ 3.5</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>62.6</td> <td>65.8</td> <td>▲ 3.2</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>60.3</td> <td>64.4</td> <td>▲ 4.1</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>37.3</td> <td>41.6</td> <td>▲ 4.3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※ 平均正答率の数値</p>	(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6	国語A	68.3	70.0	▲ 1.7	国語B	63.2	65.4	▲ 2.2	算数A	72.1	75.2	▲ 3.1	算数B	42.7	45.0	▲ 2.3	中3	国語A	72.3	75.8	▲ 3.5	国語B	62.6	65.8	▲ 3.2	数学A	60.3	64.4	▲ 4.1	数学B	37.3	41.6	▲ 4.3	
	(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)																																						
小6	国語A	68.3	70.0	▲ 1.7																																						
	国語B	63.2	65.4	▲ 2.2																																						
	算数A	72.1	75.2	▲ 3.1																																						
	算数B	42.7	45.0	▲ 2.3																																						
中3	国語A	72.3	75.8	▲ 3.5																																						
	国語B	62.6	65.8	▲ 3.2																																						
	数学A	60.3	64.4	▲ 4.1																																						
	数学B	37.3	41.6	▲ 4.3																																						
評価	△																																									
		<p>平成27年度と比較すると、小学校については、全ての教科区分で全国平均正答率との差が縮まった。特に国語Aは全国平均正答率を上回り、その他の教科区分も差が1%未満となった。</p> <p>中学校については、全国平均正答率を下回ったものの、全ての教科区分で全国平均正答率との差が縮まった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H29)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">小6</td> <td>国語A</td> <td>75</td> <td>74.8</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>57</td> <td>57.5</td> <td>▲ 0.5</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>78</td> <td>78.6</td> <td>▲ 0.6</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>45</td> <td>45.9</td> <td>▲ 0.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中3</td> <td>国語A</td> <td>75</td> <td>77.4</td> <td>▲ 2.4</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>70</td> <td>72.2</td> <td>▲ 2.2</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>61</td> <td>64.6</td> <td>▲ 3.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>45</td> <td>48.1</td> <td>▲ 3.1</td> </tr> </tbody> </table>	(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6	国語A	75	74.8	0.2	国語B	57	57.5	▲ 0.5	算数A	78	78.6	▲ 0.6	算数B	45	45.9	▲ 0.9	中3	国語A	75	77.4	▲ 2.4	国語B	70	72.2	▲ 2.2	数学A	61	64.6	▲ 3.6			45	48.1	▲ 3.1
(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)																																							
小6	国語A	75	74.8	0.2																																						
	国語B	57	57.5	▲ 0.5																																						
	算数A	78	78.6	▲ 0.6																																						
	算数B	45	45.9	▲ 0.9																																						
中3	国語A	75	77.4	▲ 2.4																																						
	国語B	70	72.2	▲ 2.2																																						
	数学A	61	64.6	▲ 3.6																																						
		45	48.1	▲ 3.1																																						
		引き続き、きめ細かい授業の実施に向けた施策を通して、課題である学力低位層の引き上げ等に取り組む必要がある。																																								
		学力テストの結果を受け各学校が立案した学力向上に向けた計画について、市教委のヒアリングによる実施の徹底を図るとともに、学習指導や校内研修への指導主事の派遣を行い、授業改善を通じた学力向上に努める。																																								

	施策	評価指標	策定時 (%)	
	29年度の成果等		現 在 (%)	
	課題と今後の取組等			
2	外国語教育の推進 (学校教育課)	中学校3年生までの英検3級の 取得率が全国平均を超える (英語教育実施状況調査)	(H27)久留米市 取得率 15.9	(H27)全国 取得率 18.9
	評価	◎	(H29)久留米市 取得率 32.3	(H28)全国 取得率 18.1
	<p>中学3年生の英検3級以上の取得率は、全国平均を超えることができた。</p> <p>平成29年度は、中学3年生の66.4%に当たる生徒が英検3級以上を受検し、合格率が28.1%で前年度を上回るなど、各学校で英語力の向上に向けた指導が行われている。</p> <p>今後とも、英語への興味・関心・意欲の向上や英語でのコミュニケーション能力の育成を図る取組を行うとともに、新学習指導要領に基づく外国語教育の実施に向けて、小中学校における効果的な指導の準備を進める。</p>			

	施策	評価指標	策定時 (%)																															
	29年度の成果等		現 在 (%)																															
	課題と今後の取組等																																	
3	教師力向上への支援 (学校教育課) (教育センター)	授業がわかると答える児童生徒 の割合や学校に行くのが楽しい と答える児童生徒の割合が全国 平均を超える (全国学力・学習状況調査)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H27)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6国わかる</td> <td>80.8</td> <td>82.0</td> <td>▲ 1.2</td> </tr> <tr> <td>小6算わかる</td> <td>79.9</td> <td>81.0</td> <td>▲ 1.1</td> </tr> <tr> <td>中3国わかる</td> <td>68.6</td> <td>74.3</td> <td>▲ 5.7</td> </tr> <tr> <td>中3数わかる</td> <td>72.7</td> <td>71.6</td> <td>▲ 1.1</td> </tr> <tr> <td>小6楽しい</td> <td>84.0</td> <td>87.0</td> <td>▲ 3.0</td> </tr> <tr> <td>中3楽しい</td> <td>79.8</td> <td>82.1</td> <td>▲ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>				(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6国わかる	80.8	82.0	▲ 1.2	小6算わかる	79.9	81.0	▲ 1.1	中3国わかる	68.6	74.3	▲ 5.7	中3数わかる	72.7	71.6	▲ 1.1	小6楽しい	84.0	87.0	▲ 3.0	中3楽しい	79.8	82.1	▲ 2.3
	(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)																														
	小6国わかる	80.8	82.0	▲ 1.2																														
小6算わかる	79.9	81.0	▲ 1.1																															
中3国わかる	68.6	74.3	▲ 5.7																															
中3数わかる	72.7	71.6	▲ 1.1																															
小6楽しい	84.0	87.0	▲ 3.0																															
中3楽しい	79.8	82.1	▲ 2.3																															
評価	△	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H29)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6国わかる</td> <td>79.9</td> <td>82.2</td> <td>▲ 2.3</td> </tr> <tr> <td>小6算わかる</td> <td>79.1</td> <td>80.6</td> <td>▲ 1.5</td> </tr> <tr> <td>中3国わかる</td> <td>72.3</td> <td>74.9</td> <td>▲ 2.6</td> </tr> <tr> <td>中3数わかる</td> <td>67.0</td> <td>69.4</td> <td>▲ 2.4</td> </tr> <tr> <td>小6楽しい</td> <td>84.2</td> <td>86.3</td> <td>▲ 2.1</td> </tr> <tr> <td>中3楽しい</td> <td>79.9</td> <td>80.9</td> <td>▲ 1.0</td> </tr> </tbody> </table>				(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6国わかる	79.9	82.2	▲ 2.3	小6算わかる	79.1	80.6	▲ 1.5	中3国わかる	72.3	74.9	▲ 2.6	中3数わかる	67.0	69.4	▲ 2.4	小6楽しい	84.2	86.3	▲ 2.1	中3楽しい	79.9	80.9	▲ 1.0	
(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)																															
小6国わかる	79.9	82.2	▲ 2.3																															
小6算わかる	79.1	80.6	▲ 1.5																															
中3国わかる	72.3	74.9	▲ 2.6																															
中3数わかる	67.0	69.4	▲ 2.4																															
小6楽しい	84.2	86.3	▲ 2.1																															
中3楽しい	79.9	80.9	▲ 1.0																															
<p>全ての教室でわかる授業が展開されるよう、基本研修・課題研修・専門研修を柱とした教員研修の充実や出張授業作りサポートなどの教育活動の支援を通して、教員一人ひとりの授業力向上に努めるとともに、授業準備や教材研究等の時間をより確保できるよう、教員の多忙化の緩和を図る。</p> <p>また、授業をはじめ、部活動や行事等を通して、友人と切磋琢磨し、個性を伸ばすことによって自己成長感を抱かせるような教育活動に努める。</p>																																		



## 重点2 たのしい学校【安全・安心な学校づくり】

	施策	評価指標	策定時 (%)																	
	29年度の成果等		現在 (%)																	
	課題と今後の取組等																			
1	不登校対応 (学校教育課)	不登校の出現率が全国を下回り、復帰率が県を上回ることを維持しつつ、さらなる改善を目指す (児童生徒の問題行動・不登校等調査)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H26)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国(県) (B)</th> <th>差 (A)-(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出現率</td> <td>11.5</td> <td>12.6 (国)</td> <td>▲ 1.1</td> </tr> <tr> <td>復帰率</td> <td>49.6</td> <td>34.8 (県)</td> <td>14.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出現率＝不登校児童生徒数/全児童生徒数 ※復帰率＝復帰者数/不登校児童生徒数 (いずれも1,000人当たりの割合)</p>	(H26)	久留米市 (A)	全国(県) (B)	差 (A)-(B)	出現率	11.5	12.6 (国)	▲ 1.1	復帰率	49.6	34.8 (県)	14.8					
			(H26)	久留米市 (A)	全国(県) (B)	差 (A)-(B)														
出現率	11.5	12.6 (国)	▲ 1.1																	
復帰率	49.6	34.8 (県)	14.8																	
評価	○	<p>① 平成26年度と比較すると、平成28年度時点では、不登校の出現率が全国を下回り、復帰率は県を上回ることができた。</p> <p>② 平成29年12月末時点の状況は、右記のとおりである。出現率は前年度の全国を下回っているが、復帰率は前年度の県を下回っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(H28)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国(県) (B)</th> <th>差 (A)-(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出現率</td> <td>10.7</td> <td>13.6 (国)</td> <td>▲ 2.9</td> </tr> <tr> <td>復帰率</td> <td>46.7</td> <td>28.1 (県)</td> <td>18.6</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29.12 末時点</th> <th>久留米市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出現率</td> <td>8.7</td> </tr> <tr> <td>復帰率</td> <td>18.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>教職員による不登校の段階ごとの対応方針である福岡アクション3の徹底、個々の児童生徒の状況に応じたマンツーマン対応のほか、適応指導教室やらるご久留米などを活用し不登校の未然防止、早期発見・早期対応に取り組む。</p>	(H28)	久留米市 (A)	全国(県) (B)	差 (A)-(B)	出現率	10.7	13.6 (国)	▲ 2.9	復帰率	46.7	28.1 (県)	18.6	H29.12 末時点	久留米市	出現率	8.7	復帰率	18.5
(H28)	久留米市 (A)	全国(県) (B)	差 (A)-(B)																	
出現率	10.7	13.6 (国)	▲ 2.9																	
復帰率	46.7	28.1 (県)	18.6																	
H29.12 末時点	久留米市																			
出現率	8.7																			
復帰率	18.5																			

	施策	評価指標	策定時 (%)																	
	29年度の成果等		現在 (%)																	
	課題と今後の取組等																			
2	いじめ問題対応 (学校教育課)	いじめの認知件数が全国を上回り、解消率が全国平均を超える (児童生徒の問題行動・不登校等調査)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H26)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (A)-(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知件数</td> <td>40.7</td> <td>17.8</td> <td>22.9</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>93.7</td> <td>88.9</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 児童生徒 1,000 人当たりのいじめ認知件数</p>	(H26)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (A)-(B)	認知件数	40.7	17.8	22.9	解消率	93.7	88.9	4.8					
			(H26)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (A)-(B)														
認知件数	40.7	17.8	22.9																	
解消率	93.7	88.9	4.8																	
評価	△	<p>① 平成28年度はいじめの認知件数といじめの解消率は、全国平均を下回った。</p> <p>② 平成29年12月末時点の状況は、右記のとおりである。認知件数は前年度の全国を3.0ポイント上回っているが、解消率は前年度の全国を下回っている*。</p> <p>※平成29年度より、いじめ解消の定義が「本人や周りの申し出に加えて、3ヶ月間の経過を経て判断する」と変更されたため、解消率が低くなっています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(H28)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (A)-(B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知件数</td> <td>29.6</td> <td>31.8</td> <td>▲ 2.2</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>88.5</td> <td>90.7</td> <td>▲ 2.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 児童生徒 1,000 人当たりのいじめ認知件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29.12 末時点</th> <th>久留米市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知件数</td> <td>34.8</td> </tr> <tr> <td>解消率</td> <td>41.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>いじめの認知については、SNSなど表面化しにくい事象があることを認識し、担任をはじめとする教職員等の捕捉力を高めるとともに、児童生徒や保護者へのアンケートによる積極的な認知に努める。また、校内だけでなく、生徒指導担当教員の合同研修など学校横断的な取組によって解消率の向上に努める。</p>	(H28)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (A)-(B)	認知件数	29.6	31.8	▲ 2.2	解消率	88.5	90.7	▲ 2.2	H29.12 末時点	久留米市	認知件数	34.8	解消率	41.0
(H28)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (A)-(B)																	
認知件数	29.6	31.8	▲ 2.2																	
解消率	88.5	90.7	▲ 2.2																	
H29.12 末時点	久留米市																			
認知件数	34.8																			
解消率	41.0																			

	施策	評価指標	策定時 (%)												
	29年度の成果等		現在 (%)												
	課題と今後の取組等														
3	学校生活充実への支援 (学校教育課) (教育センター)	学校に行くのが楽しいと答える 児童生徒の割合(再掲)や、自 分にはよいところがあると答 える児童生徒の割合が全国平均 を超える (全国学力・学習状況調査)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H27)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6楽しい</td> <td>84.0</td> <td>87.0</td> <td>▲ 3.0</td> </tr> <tr> <td>中3楽しい</td> <td>79.8</td> <td>82.1</td> <td>▲ 2.3</td> </tr> </tbody> </table>	(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6楽しい	84.0	87.0	▲ 3.0	中3楽しい	79.8	82.1	▲ 2.3
			(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)									
小6楽しい	84.0	87.0	▲ 3.0												
中3楽しい	79.8	82.1	▲ 2.3												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H27)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6よいところ</td> <td>72.0</td> <td>76.4</td> <td>▲ 4.4</td> </tr> <tr> <td>中3よいところ</td> <td>60.5</td> <td>67.1</td> <td>▲ 6.6</td> </tr> </tbody> </table>	(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6よいところ	72.0	76.4	▲ 4.4	中3よいところ	60.5	67.1	▲ 6.6			
(H27)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)												
小6よいところ	72.0	76.4	▲ 4.4												
中3よいところ	60.5	67.1	▲ 6.6												
	評価	△													
	<p>学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒の割合は、平成27年度より高くなり、全国との差が縮まった。</p> <p>また自分には良いところがあると答える児童生徒は、平成27年度より、小学校では低くなり、全国との差が開いてしまったが、中学校では割合が高くなり、全国との差が縮まった。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H29)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6楽しい</td> <td>84.2</td> <td>86.3</td> <td>▲ 2.1</td> </tr> <tr> <td>中3楽しい</td> <td>79.9</td> <td>80.9</td> <td>▲ 1.0</td> </tr> </tbody> </table>	(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6楽しい	84.2	86.3	▲ 2.1	中3楽しい	79.9	80.9	▲ 1.0
(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)												
小6楽しい	84.2	86.3	▲ 2.1												
中3楽しい	79.9	80.9	▲ 1.0												
	<p>学校に行くのが楽しい、自分にはよいところがあると肯定的に回答した児童生徒は、全国平均を下回っている。</p> <p>そこで、学校生活においては、授業・特別活動・学校行事等において、子ども一人ひとりの良さに気付き、役割を設けるなど、児童生徒が自己有用感や自己肯定感が高まるような取組を通し、自尊感情が高まり、学校が楽しい場所と感ずることが出来るよう指導していく。</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H29)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6よいところ</td> <td>71.6</td> <td>77.9</td> <td>▲ 6.3</td> </tr> <tr> <td>中3よいところ</td> <td>65.4</td> <td>70.7</td> <td>▲ 5.3</td> </tr> </tbody> </table>	(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6よいところ	71.6	77.9	▲ 6.3	中3よいところ	65.4	70.7	▲ 5.3
(H29)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)												
小6よいところ	71.6	77.9	▲ 6.3												
中3よいところ	65.4	70.7	▲ 5.3												

	施策	評価指標	策定時									
	29年度の成果等		現在									
	課題と今後の取組等											
4	学校安全への支援 (学校教育課)	日本スポーツ振興センター災害 給付対象けが件数の減少(小学 校)	(H26) 1,612件									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>(H28)</th> <th>久留米市 (A)</th> <th>全国 (B)</th> <th>差 (B)-(A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小6楽しい</td> <td>84.2</td> <td>86.3</td> <td>▲ 2.1</td> </tr> <tr> <td>中3楽しい</td> <td>79.9</td> <td>80.9</td> <td>▲ 1.0</td> </tr> </tbody> </table>	(H28)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)	小6楽しい	84.2	86.3	▲ 2.1	中3楽しい
(H28)	久留米市 (A)	全国 (B)	差 (B)-(A)									
小6楽しい	84.2	86.3	▲ 2.1									
中3楽しい	79.9	80.9	▲ 1.0									
	評価	○										
	<p>平成26年度と比較して、28年度は72件増加した。各年度11月末現在と比較すると、29年度は減少傾向にある。</p>		(H28) 1,684件 参考 (H26.11.30現在) 959件 (H27.11.30現在) 1,032件 (H28.11.30現在) 1,057件 (H29.11.30現在) 911件									
	<p>時間別では昼休み、場所別では校庭・運動場で、学年別では5・6年生における件数が最も多い。</p> <p>上津小学校がモデル校として取り組んできたセーフコミュニティの「学校の安全」の取組を市内全小学校で展開し、各学校の特徴に応じた安全への取組を進める。</p>											

### 重点3 久留米版コミュニティ・スクールの推進【学校・家庭・地域の協働】

	施策	評価指標	策定時 (%)
	29年度の成果等		現在 (%)
	課題と今後の取組等		
1	学習習慣定着への支援 (学校教育課)	家庭等での学習時間の向上 (1時間以上) (全国学力・学習状況調査)	(H27) 小6 55.7 中3 63.8  ※ 平日に家庭学習を1時間以上している児童生徒の割合
	評価	○	(H29) 小6 55.1 中3 65.3 参考 (H28) 小6 52.4 中3 64.2
	平成28年度に比べると、小中学校とも家庭等での学習時間(1時間以上)の向上が見られたが、小学校6年生については、平成27年度の数値に届かなかった。		
<p>家庭等での学習時間については、昨年度よりも向上したが、策定時の数値には届かず、十分な成果が表れているとは言えない。</p> <p>各学校では、計画的な宿題の出し方を工夫するなど、家庭等での学習時間の向上に取り組んでおり、今後もその取組を充実させていく。また、地域学校協議会による学習習慣定着やスローメディアのための取組の提言とその実施について、引き続き推進する。</p>			

	施策	評価指標	策定時 (%)
	29年度の成果等		現在 (%)
	課題と今後の取組等		
2	地域学校協議会提言実働化への支援 (学校教育課)	地域学校協議会提言の達成率の向上	(H27) 達成率 71.7
	評価	○	(H28) 達成率 72.5
	各学校において地域学校協議会から学力面と生活面での提言を受け、学力面については、放課後学習会や家庭学習の充実に、生活面については、スローメディア、読書、基本的な生活習慣の確立に多くの学校が取り組んだ。その結果、達成率が平成27年度より向上した。		
<p>地域学校協議会の中で学校と家庭、地域が教育課題を明らかにし、その課題の解決に向けた方策を見出す手法などについて学びあう地域学校協議会会長等研修会の充実を図る。</p> <p>中でも、実践発表や同じ課題を抱える学校との協議を通して情報共有し、地域学校協議会による提言がさらに実働するよう促していく。</p>			

## 8 総括と今後に向けて

### (1) 第3期久留米市教育改革プラン2年目の総括

第3期久留米市教育改革プランの2年目における取組の進捗状況としては、設定した評価指標に対して、「◎（達成）」が1つ、「○（概ね達成）」が4つ、「△未達成」が4つという結果であり、前年度とほぼ同じ状況でした。

しかし、「外国語教育の推進」「不登校対応」など、プラン策定時から一定の成果を上げ続けているものや「学校安全への支援」のように「未達成」だったものが、今年度「概ね達成」の評価になったものがあるなど、2年目を迎え、この間の取組が定着し、効果の持続と課題の改善が図られてきたものと考えています。

また、「授業改善への支援」「教師力向上への支援」といった学力の保障と向上への取組では、今年度の全国学力学習状況調査において、小学校国語Aで全国平均を上回りました。これは、平成22年に中学校国語Bで初めて全国平均を上回って以来のことであり、中学校でも全教科区分で全国平均との差が縮小するなど一定の改善傾向が見えました。

しかし、設定した評価指標の達成には届かず、課題の改善を図ることができませんでした。第3期教育改革プラン3年目に向け、今後さらなる取組の充実が必要です。

### (2) 今後の推進に向けて

近年、急速な教職員の世代交代に加え、全国的な問題となっている教員不足や多忙化については、本市においても大変きびしい状況にあります。

そのような中、来年度は小学校（中学校は平成31年度）で「特別の教科 道徳」が実施されます。さらには、平成32年度の小学校、平成33年度の中学校新学習指導要領の完全実施に伴い、来年度からは小学校で「外国語科」が先行実施される予定です。

このように学校教育を取り巻く環境が大きく変化しようとする中、本市においては、各学校に地域学校協議会が設置され、その提言の実働化により、学校・家庭・地域が協働した学力・生活面の向上を図る地盤づくりも進められています。その強みを活かし、第3期教育改革プランを基盤にすえた学校経営方針が各校長により策定され、「ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成」に向けた特色ある教育活動が展開されています。

4月から3年目を迎える第3期教育改革プランの推進にあたっては、2年目の進捗状況の検証結果を踏まえ、3つの重点である「わかる授業」「たのしい学校」「久留米版コミュニティ・スクールの推進」に向けた取組をさらに充実していきたいと考えています。